

神奈川歯科大学短期大学部紀要

第10号

目次▶

唾液・唾液腺の教育研究の現状と今後	梶木恵一	1
歯科衛生士学生教育用口腔内治具と新しい実習評価法 ―歯科衛生士教育、学生評価への応用―	山田直樹	7
新型コロナウイルス感染症拡大下における母性看護学実習 ～マトリックス方式による文献検討～	上西由美・村井美侑・久保貴巳子	15
シミュレーション演習における学生の思考過程の分析	吉越洋枝・石川智子	25

神奈川歯科大学短期大学部

2023年

《神奈川歯科大学 歯学部歯学科》

槻木 恵一 歯学部副学長・教授

《歯科衛生学科》

山田 直樹 本学教授

《看護学科》

上西 由美 本学助教

吉越 洋枝 本学准教授

編集後記

2023年神奈川歯科大学短期大学部紀要第10号をお届け致します。ご投稿くださいました著者の皆様、投稿された論文を丁寧かつ的確に査読してくださいました先生方に心よりお礼申し上げます。

今後も皆様の貴重な研究成果の公表の場として積極的にご活用いただけますよう、第11号へ向けてご投稿を委員会一同お待ち申し上げます。

アカデミックサポート委員会

2022年12月23日 受付

2023年3月28日 印刷

2023年3月31日 発刊

神奈川歯科大学短期大学部紀要 第10号

発行者 神奈川歯科大学短期大学部

石井 信之

電話 046-822-8781

編集者 神奈川歯科大学短期大学部アカデミックサポート委員会

電話 046-822-8781

発刊 神奈川歯科大学短期大学部

横須賀市稲岡町82 〒238-8580

印刷 文明堂印刷株式会社

横須賀市東浦賀1-3-12

電話 046-841-0074(代)

神奈川歯科大学短期大学部紀要投稿規定

1 投稿資格

- 1) 本誌への投稿原稿について、筆頭著者は次に掲げる者とする。ただし、共著者については、この限りではない。
 - ア 本学の専任教員
 - イ 本学の非常勤教員
 - ウ その他本委員会が認めた者なお、イまたはウに該当する場合は、共同著者に本学の専任教員を含めるものとする。
- 2) 神奈川歯科大学リポジトリ規定に基づき、本誌掲載論文をリポジトリに登録することを許諾する者に限る。
- 3) 投稿編数は、原則として本研究報告各号の刊行にあたり、同一人につき、単独研究は1編、共同研究は2編までとする。

2 投稿論文の内容

- 1) 看護と歯科衛生分野及び自然科学、人文科学分野の向上と発展に寄与するものであり未発表のもの、他の雑誌に発表していないもの、または投稿中でないものに限る。

3 投稿論文の種類

- 1) 原著：主題が明確で、独創的かつ理論的・実証的な研究論文、及び科学的な観察。
- 2) 総説：特定の分野に関して、それまでに発表された研究などの論文を総括的に分析し、分野全体の学問的状況を概説し将来の展望を提示するもの。
- 3) 短報：新しい知見が論理的に示されており独創性の高い速報としての価値のある内容を含むもの、予報的な研究に関する論文。
- 4) 報告：学術的に示唆に富む事例や、調査研究、報告。
- 5) 資料：調査、統計、文献検索、実験などの結果の報告で、研究の資料として役に立つもの(研究ノート等)。
- 6) その他：(1)～(5)に分類することが難しいものの、本委員会により掲載が妥当と認められたもの。

4 本誌の発行

- 1) 原則として年1回、3月とする。

5 紀要および別刷りの配布

- 1) 投稿原稿の連絡先教員には一編につき別刷り30部を贈呈する。
- 2) これを超えるものおよびカラー写真の掲載費用については、著者がその実費を負担する。
- 3) 本学常勤教員に対して、紀要発行後、1人につき1部を無料配布する。
- 4) 学外配布先は本委員会で決定する。

6 著作権

- 1) 本誌に掲載された論文、抄録などの著作権は神奈川歯科大学短期大学部に帰属する。ただし、原稿の内容については著者が責任を負う。

7 投稿手続き

- 1) 所定の投稿申込用紙に必要事項を記入のうえ、本委員会紀要担当者に提出する。
- 2) 投稿原稿データは原則としてMS-WORDファイルとし、プリントアウトした投稿原稿2部(著者名と所属を削除したもの)を封筒に入れ、提出する。
- 3) 投稿締め切りは11月末日とし、締め切り日が土曜日または休日の場合は、直後の勤務日を持って提出締め切り日とする。

8 投稿論文の査読と採否

- 1) すべての投稿原稿の採否および種類の決定は、査読を経て本委員会が行う。
- 2) 査読者は本委員長が依頼し、「神奈川歯科大学短期大学部紀要査読ポイント」に基づき査読を行う。
- 3) 原稿の受理日は、それが本委員会で採択された日とする。
- 4) 採択された最終原稿はプリントアウトした原稿1部と電子媒体(USB)を添えて本委員会紀要担当者に提出する。

5) 投稿論文の掲載順序は本委員会が決定する。

9 原稿作成要領

1) 原稿は和文または英文とする。

2) 論文の様式

(1) 原稿はワードで作成し、1段組みの書式とする。

(2) 投稿書式が1段組みであっても、発行時の書式は2段組みとなる。1段組みから2段組みへの書式の変更は、印刷要領に従って印刷会社が製版する。

(3) 原稿は、縦置きA4判用紙に横書きにし、横40字×縦40行とする。

(4) 和文は、游明朝、游ゴシック Light、英文はCentury、Arialのいずれかとし、フォントの大きさは10.5ポイントとする。

(5) 各ページの下余白中央にページ番号を入れる。

(6) 原稿は原則として、1編につき、表紙、本文、図（グラフ・写真を含む）・表、参考文献、謝辞を含め40枚までとする。

3) 表紙

(1) 論文の前には表紙を付けること。

(2) 表紙には、次の項目を記述すること。

論題（副題）、英文論題（副題）、著者名、英文著者名、所属、連絡先・所属、受付日・受理日

(3) 著者が複数で所属が異なる場合は、それぞれの所属を番号によって区別し、筆頭著者を1としてすべての著者の右肩及び所属の左肩に¹⁾、²⁾のよう番号を付ける。

(4) 英文原稿の場合、論題及びキーワードは、冠詞、前置詞、接続詞などの付属語ならびに慣用の特殊語を除き、頭文字を大文字、以下を小文字で記す。またハイフンでつながる複合語はハイフンの後は小文字で記す。

(5) キーワード（索引用語）は和文及び英文にて5個以内とする。

4) 本文

(1) 本文の構成は、原則として、緒言（はじめに）、方法、結果、考察、結論、謝辞、引用文献、図表とする。

(2) 投稿原稿は口語体、新仮名づかい、平仮名、横書きとし、漢字は学術用語など特殊な場合を除き当用漢字を用いる。外国人名および地名は原語とする。

(3) 度量衡の単位はm、cm、mm、kg、g、mg、 μ g、L、mL、g/L、mg/dLなどとし、単位名の後ろには点をつけない。

(4) 日本語原稿の数字は、原則としてアラビア数字を用いる（1つ、1～2時間）。ただし、漢字と結合して名称を表すものは漢字とする（数十個、一例）。

5) 図、表

(1) 図・表は、そのまま印刷できる鮮明なものを1図1表ずつ別紙に作成し、提出する。その際、Microsoft Office (DOC (X), XLS (X), PPT (X))、jpg、gif、png、EPS、TIFF、またはpdfとする。なお、印刷原稿の解像度は300 dpi以上とする。

(2) 図表の右上余白に、筆頭著者と図または表の番号を図1、図2、表1、表2のように記す。

(3) 図、表の本文への挿入箇所は、原稿本文の右欄外に、図または表の番号を朱書きで指定する。

6) 文献

(1) 引用文献は、本文中には著者・発行年方式を用い、引用文献リストには著者のアルファベット順に文献を掲載する。

(2) 文献の記載方法は以下に従う。

① 文献リストに記載すべき書誌情報は、書籍や学術掲載の論文など出典の種類によらず、基本的に「著者」「年号」「タイトル」「出版データ」の順に記載し、それぞれの要素は半角ピリオド（.）で終える。

② 年号はカッコで括る。

例) 基本書式

前田樹海. (2011). 「APA論文作成マニュアル第2版」で何が変わったかー引用方法の変更とその背景. 看護研究. 44 (5). 524-529.

③ 日本語の著者名をアルファベット順に並べる際には、ヘボン式に従う。

④ ヘボン式表記で著者姓が全く同一になってしまう場合は、著者の名で並べる。

例) 吉田一郎. (2019). …

由田太郎. (2018). …

⑤ 同一の筆頭著者による複数の文献は、単著を共著の前におく。下記例のように、3番目と4番目の文献は、第3著者のアルファベット順に並べる。

例) 吉田一郎. (2019). …

吉田一郎, 鈴木博. (2016). …

吉田一郎, 鈴木博, 西村香. (2015). …

吉田一郎, 鈴木博, 宮川徹. (2016). …

- ⑥ 同一の(共)著者による複数の文献は、出版年の昇順に並べる。
- ⑦ 同一著者、同一出版年の複数の文献はタイトルのアルファベット順に並べる。
- ⑧ 著者の日本語表記はフルネームで記載し、ピリオドで終える。
- ⑨ 共著の場合は、著者と著者の間を半角カンマ「,」で区切り、半角ピリオド「.」で著者要素を終える。
例) 吉田一郎.
吉田一郎, 鈴木博.
- ⑩ 著者が8人以上の場合、最初の6名を列挙し省略記号...とともに、最終著者を記載する。
著者1, 著者2, 著者3, 著者4, 著者7, 著者6, ... 最終著者. (出版年). 論文タイトル. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ - 終了ページ.
例) 吉田一郎, 由田太郎, 鈴木博, 岡本信夫, 佐藤博之, 宮野守男, ... 江口拓三. (2018)....
- ⑪ 雑誌論文の場合
著者名. (出版年). 論文タイトル. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ - 終了ページ.
- ⑫ オンライン版の場合
著者名. (年号). 論文タイトル. 掲載誌名, 巻(号), 開始ページ - 終了ページ.URL
- ⑬ 書籍の場合
著者名. (出版年). 書籍タイトル. 発売元.
- ⑭ 書籍(一部引用)の場合
著者名. (出版年). 書籍タイトル. (pp.開始ページ・終了ページ). 発行元.
- ⑮ 翻訳本(一部引用)の場合
原著者名. (原書出版年/翻訳書出版年). 翻訳者名(訳), 翻訳書タイトル(pp.開始ページ・終了ページ). 発行元.
例) アメリカ心理学会 [APA]. (2010/2011). 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦(訳). APA論文作成マニュアル(第2版) (pp.192-193). 医学書院.
- ⑯ 著者名のない出典の場合は、著者位置にタイトルを記載する。
例) 戴帽式一看護の決意新た. (2012, 10月5日). 読売新聞. <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/sara/news/20121004-OYT8T01615.htm>

10 倫理的配慮

- 1) ヒトを研究対象とするものについては、研究倫理審査委員会による審査を受け、投稿原稿にその旨を記載する。承認した研究倫理審査委員会の名称を記載する。

11 個人情報の取扱い

- 1) 「臨床研究に関する倫理指針(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)」による規定を遵守すること。

12 利益相反

- 1) 利益相反(COI)関係については、本文の末尾(文献の前)に、記載する。利益相反(COI)状態がない場合は、「申告すべき利益相反(COI)状態はない」などの文言を記載する。

13 連絡先・所属

- 1) 連絡先は、氏名・メールアドレスを記載すること。
- 2) 著者が複数いる場合は原則として、投稿論文に対する筆頭著者を連絡先とすること。

14 校正

- 1) 原稿の著者校正は初校のみとし、大幅な加筆修正は認めない。

15 既定の改正等

- 1) 本規定にない事項は、別に本委員会にて決定する。
- 2) 本規定を改正することがある。なお、改正にあたっては神奈川歯科大学短期大学部教授会の承認を得なければならない。

附則 本規定は、平成25年7月1日から施行する。
 本規定は、平成26年6月1日から一部変更し、実施する。
 本規定は、平成29年4月1日から一部変更し、実施する。
 本規定は、平成31年4月1日から一部変更し、実施する。
 本規定は、令和3年4月1日から一部変更し、実施する。

CONTENTS

ISSN 2188-5907

Current and Future Education and Research on Saliva and Salivary Glands	Keiichi TSUKINOKI — 1
Proposal of intraoral jig for dental hygiene student education	Naoki YAMADA — 7
Maternal Nursing Practice under the Spread of New Coronavirus Infection ~ Literature Review by Matrix Method ~	Yumi KAMINISHI, Midori MURAI, Kimiko KUBO —15
Analysis of Students' Thought Processes in Simulation Exercises	Hiroe YOSHIKOSHI, Tomoko ISHIKAWA —25